

授業科目	成人看護学特論 Adult Health Nursing	1・2 学年	前期	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎高柳 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 酒井 禎子	【所属】 新潟県立看護大学		
【到達目標】 健康障害を持つ成人期にある人々とその家族の援助の基本となる概念および理論を理解し、看護実践への適用ならびに介入効果の検証方法を説明できる。						
【授業概要】 健康障害を持つ成人期にある人々とその家族の援助の基本となる概念・理論ならびに、それを適用した介入効果の検証方法の基本を学ぶ。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考	
1	講義	ガイダンス、ライフサイクルからみた成人期	漸成論		高柳	
2	プレゼンテーションと討議	成人看護学領域における理論と基本概念 1	アンドラゴジー		高柳	
3	プレゼンテーションと	成人看護学領域における理論と基本概念 2	危機理論		高柳	
4	討議	成人看護学領域における理論と基本概念 3	ストレスコーピング			
5		成人看護学領域における理論と基本概念 4	自己効力感 エンパワメント			
6	プレゼンテーションと	成人看護学領域における理論モデルを適用した看護実践 1	事例への理論適用と分析①		高柳	
7	討議	成人看護学領域における理論モデルを適用した看護実践 2	事例への理論適用と分析②			
8		成人看護学領域における理論モデルを適用した看護実践 3	事例への理論適用と分析③			
9	講義・	看護介入効果の実証的研究 1	実証的研究論文クリティークに必要な基礎的知識		高柳	
10	討議	看護介入効果の実証的研究 2	看護介入効果の実証的研究論文のクリティーク①			
11		看護介入効果の実証的研究 3	看護介入効果の実証的研究論文のクリティーク②			

12 13 14	講義・ プレゼンテ ーションと 討議	非がん疾患患者のエンドオブ ライフケア	非がん疾患患者のエンドオブライフ ケアの特徴、QOL 改善に向けたアセス メントとマネジメント、意思決定支 援	酒井
15	プレゼンテ ーション	まとめ	成人看護学領域で用いられる概念・ 理論の振り返りとともに、自己の研 究テーマとの関連づけを行う。	高柳
【評価方法、評価基準】				
課題レポート・プレゼンテーション 50%、討議への貢献度 30%、学習課題への主体的な取り組み 20%				
【テキスト】				
適宜、紹介する。				
【参考書・資料等】				
適宜、紹介する。				
【受講、課題、資料配布等のルール】				
初回開講時に説明する。				
【教員からのメッセージ】				
プレゼンテーションや討議を中心に授業を進めていきますので、主体的な参加を期待します				
【オフィスアワー】				
在室時、可能な限り対応(事前にメール等での予約が確実)				

授業科目	成人看護学援助論 I Advanced Adult Health Nursing I	1・2 学年	通年	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎高柳 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 小林 綾子	【所属】 新潟県立看護大学		
【到達目標】 健康障害を持つ成人期にある人々への看護介入に関する研究の動向をふまえ、健康障害を持つ成人期にある人々とその家族への看護アプローチ方法とその評価方法の基本を説明できる。						
【授業概要】 健康障害を持つ成人期にある人々への看護介入に関する研究の動向と課題を文献講読により把握する。健康障害を持つ成人期にある人々とその家族への看護アプローチと評価方法を学ぶ。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容	備考		
1	講義	オリエンテーション		高柳		
2-3 4-5	講義・プレゼンテーション・討議	健康障害を持つ成人期にある人々への看護介入に関する研究の動向 1~4	各自の関心領域の看護介入について研究の動向と課題を、文献講読により把握する。	高柳		
6-11	講義・プレゼンテーション・討議	健康障害を持つ成人期にある人々とその家族への支援プログラム作成と評価 1-6	看護支援プログラムの作成 展開と評価	小林		
12-15	講義・プレゼンテーション・討議	健康障害を持つ成人期にある人々とその家族を対象とした看護研究手法 1~4	測定ツールの選択 質問紙法 観察法 生理生物学的手法	高柳		
【評価方法、評価基準】 課題レポートおよびプレゼンテーション 60%、討議への貢献度 20%、学習課題への主体的な取り組み 20%						
【テキスト】 適宜、指示する						
【参考書・資料等】 適宜、指示する						
【受講、課題、資料配布等のルール】 初回開講時に説明する。						
【教員からのメッセージ】 プレゼンテーションと討議を中心に進めていきますので、主体的な参加を期待します。						
【オフィスアワー】 在室時、可能な限り対応(事前にメール等での予約が確実)						

授業科目	成人看護学援助論Ⅱ Advanced Adult Health Nursing II		1・2 学年	通年	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎高柳 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 小林綾子	【所属】 新潟県立看護大学			
【到達目標】 成人看護学領域における各自の関心領域の国内外文献の講読・クリティークを通して、自己の研究課題の絞り込みができる。							
【授業概要】 成人看護学領域における関心領域の研究の動向を把握し、各自の研究課題の洗練化・明確化を図る。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容			備考	
1	講義	オリエンテーション				高柳	
2-6	講義 プレゼンテーション	成人看護学領域における看護研究プロセス	文献検索、クリティークの方法、研究計画書の構成、研究論文の構成			高柳	
7-8	討議	成人看護学領域における研究倫理	倫理原則 倫理指針			高柳	
9-14	プレゼンテーション 討議	成人看護学領域における研究の動向と課題	関心テーマの表明 文献レビュー・プレゼンテーション・討論により、研究したい問いや現象が研究課題になりうるのかを検討していく過程を通して、研究課題の絞り込みを行う。			高柳 小林	
15		まとめ	研究課題の明確化				
【評価方法、評価基準】 課題レポート・プレゼンテーション 60%、討議への貢献度 20%、学習課題への主体的な取り組み 20%							
【テキスト】 適宜、指示する							
【参考書・資料等】 適宜、指示する							
【受講、課題、資料配布等のルール】 初回開講時に説明する。							
【教員からのメッセージ】 プレゼンテーションと討議を中心に進めていきますので、主体的な参加を期待します。							
【オフィスアワー】 在室時、可能な限り対応（事前にメール等での予約が確実）							

授業科目	成人看護学特別演習 Seminar of Adult Health Nursing	1・2 学年	後期	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎高柳 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 小林 綾子	【所属】 新潟県立看護大学		
【到達目標】 成人看護学領域における自己の研究課題について、研究計画書を作成できる。						
【授業概要】 成人看護学領域の個々の研究課題について研究計画書の完成までを指導する。プレゼンテーション・討議・フィールドワークを通して研究計画を精練し、研究計画書を作成する基本的能力を養う。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考	
1-2	講義 討議	オリエンテーション	研究課題の決定 研究計画書作成計画		高柳	
3-10	プレゼンテーション 討議	研究計画書作成	研究計画の妥当性を高めるため、リサーチミーティング、フィールドワーク、関連学会参加を行う		高柳 小林	
11-12	フィールドワーク	研究フィールド開拓の準備				
13-14	討議	倫理的配慮の検討	倫理審査申請書の作成と検討		高柳 小林	
15	プレゼンテーション 討議	まとめ	研究計画書の修正 今後の課題と展望			
【評価方法、評価基準】 学習成果物の完成度 70%、学習課題への主体的な取り組み 30%						
【テキスト】 適宜、指示する						
【参考書・資料等】 適宜、指示する						
【受講、課題、資料配布等のルール】 初回開講時に説明する。						
【教員からのメッセージ】 主体的な参加を期待します。						
【オフィスアワー】 在室時、可能な限り対応						